



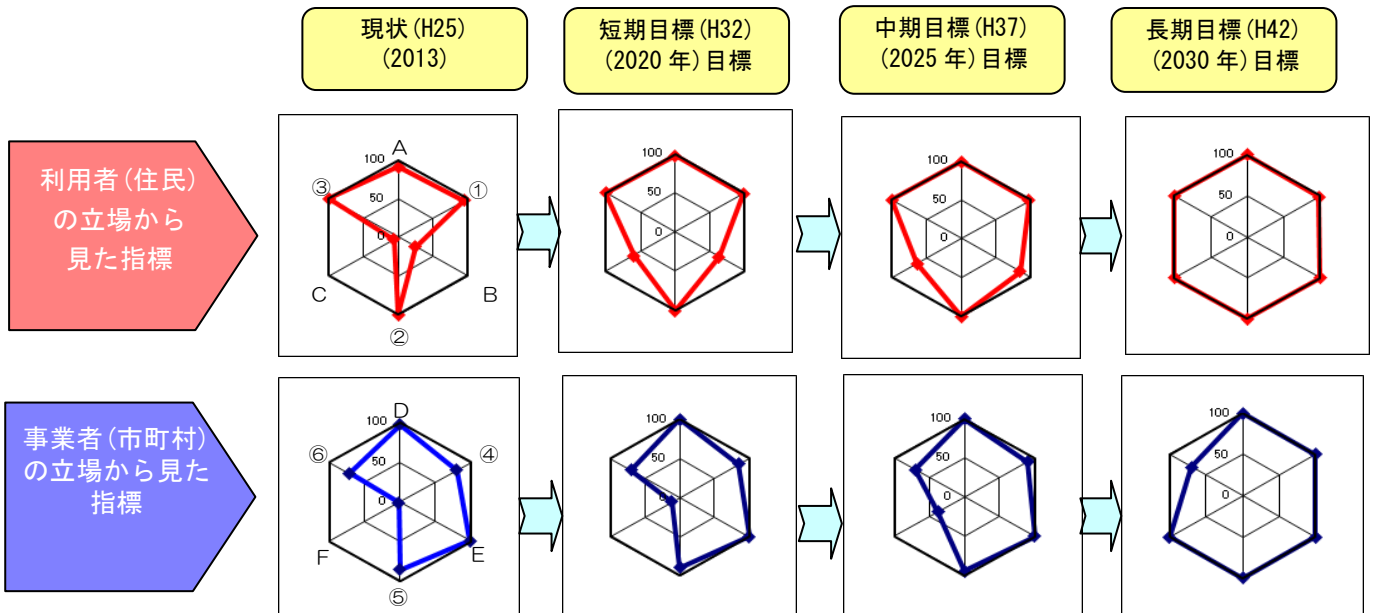
南牧村は、長野県の東端に位置し、標高1000メートル～1500メートルの高低差の激しい地域からなり、高原野菜を主産業とした農業や酪農が盛んです。
 この自然環境や水環境を後世に残すため、平成3年度に農業集落排水、平成6年度に特定環境保全公共下水道、平成9年度にコミプラ事業をそれぞれ着手いたしました。また、並行して下水道の区域外については浄化槽設置事業を進めてまいりました。
 生活排水施設は、機能の維持や利用者である住民の皆様の利便性や快適性を持続していくため、今後とも適切な維持管理のもと運営を行っていく必要があります。
 このため、50年先を見据えた経営計画に基づき、汚泥処理の集約化、維持管理の効率化等を検討し、生活排水施設の持続的な運営と良好な水と資源の循環を目指すため、20年後までの生活排水対策の構想である「南牧村 水循環・資源循環のみち2010」を策定し、平成27年度に見直しを行いました。

南牧村の方針

本村は、集合処理区域の整備が完了していることから、環境に対する認識を高めることや、生活排水にかかる情報公開を積極的に行っていきます。

- 利用者である住民の皆様に対する目標として
 - ≫環境に関する生活排水との関連性について住民の皆様と認識を高めます。
 - ≫常に新しく有益な情報をホームページ等によりお伝えします。
- 事業者である私たちの目標
 - ≫バイオマスの地産地消を進めます。
 - ≫生活排水の持続的な経営を行っていきます。

南牧村の将来目標



■利用者（住民）の立場から見た指標

★本村では、県下統一指標を主体として将来目標を以下のとおり設定しました。

★独自指標については、住民の皆様と研究を行い今後設定をまいります。

(1) 暮らしの快適さを表す評価項目

A：快適生活率(%)【統一指標】

現状H25=91.4、H32=98.3、H37=99.3、H42=100

①：浄化槽適正管理率(%)

現状H25=95.0、H32=98.0、H37=98.0、H42=98.0

(2) 環境への配慮を表す評価項目

B：環境改善指数【統一指標】

現状H25=25、H32=63、H37=85、H42=100

②：浄化槽設置基数(%)

現状H25=100、H32=100、H37=100、H42=100

(3) 住民参画への取組を表す評価項目

C：情報公開実施指数【統一指標】

現状H25=6.5、H32=60.2、H37=64.0、H42=100

③：環境学習実施率(%)

現状H25=100、H32=100、H37=100、H42=100

■事業者（市町村）の立場から見た指標

★浄化槽の整備促進を今後も進め生活改善を継続的に行います。

★バイオマスの利活用と経営の安定化を進めます。

(1) 整備事業の達成度を表す評価項目

D：汚水処理人口普及率(%)【統一指標】

現状H25=96.9、H32=99.7、H37=99.7、H42=100

④：有収水量率(%)

現状H25=80、H32=85、H37=90、H42=100

(2) 資源循環への貢献を表す評価項目

E：バイオマス利活用率(%)【統一指標】

現状H25=100、H32=100、H37=100、H42=100

⑤：放流水基準に対する放流水質(%)

現状H25=85、H32=90、H37=95、H42=100

(3) 経営の長期的な状況を表す評価項目

F：経営健全指数【統一指標】

現状H25=43、H32=58、H37=78、H42=100

⑥：維持管理に対する使用料回収率(%)

現状H25=71、H32=70、H37=70、H42=70

全ての村民の皆様の御理解をいただきながら

これまでも、多くの村民の皆様の御理解と御協力をいただき生活排水対策を進めてまいりましたが、これからも皆様に御理解をいただきながら持続的な生活排水対策と未普及地域の早期解消に努めてまいります。

【これまで】

- ・ 公示に関するお願いや地元説明会の実施
- ・ 使用料改定時などでの審議会等による公開審議

【これから、短期～中期～長期】

- ・ 水環境の改善や状況について住民の皆様と実感できる取組みを実施
- ・ 定期的な生活排水事業計画とその財政状況（経営状況）の公開
- ・ 住民の皆様からの意見募集 → 次回の構想への反映や経営改善への共同作業へ

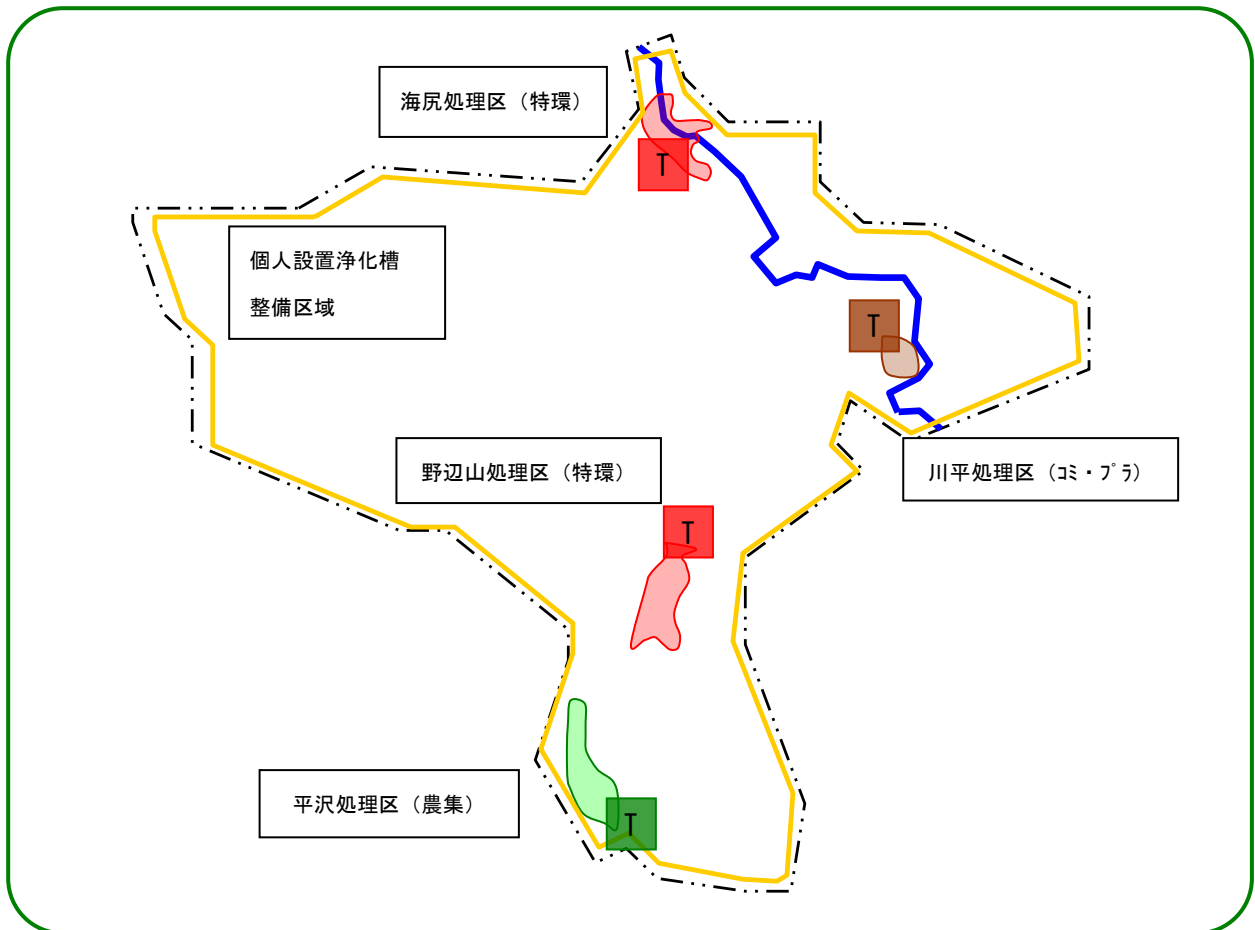




南牧村「生活排水エリアマップ2015」

平成27年度策定

生活排水エリアマップ2015(概要図)



これまでの取組みと今後の方針

南牧村の生活排水施設整備は、平成3年度に汚水処理施設整備構想エリアマップを作成し、各処理区域を明確にした上で、先ず農業集落排水事業に着手するとともに、その後、特定環境保全公共下水道事業へも着手し整備を進めてきました。

これまでの取組みにより、特定環境保全公共下水道や農業集落排水区域の整備は終了しましたが、それ以外の区域での浄化槽整備が残っているため、出来る限り早期に生活排水施設を設置していけるよう進めてまいります。



エリアマップでの取組方針

■生活排水エリアマップ2015における整備概要

- 【短期：H32まで】浄化槽（個人設置型）の整備を推進します。
- 【中期：H37まで】浄化槽（個人設置型）を引き続き整備推進します。
- 【長期：H42まで】全村整備完了を目指します。

アクションプランへの取組み

- 特定環境保全公共下水道は平成14年までで整備済みです。
- 浄化槽の適正管理の推進
法定検査受検率の向上を図るため、住民の皆様へわかりやすい説明等を行っていきます。
- 水洗化率の向上
今後も水洗化へ向けた事業を実施していきます。

全ての人が生活排水施設を利用できるように

【方針】人口減少が見込まれますが、引き続き全村民の皆様が快適な生活を享受できるよう整備を進めます。

- 浄化槽について更なる設置を進めます。
 - ≫ 浄化槽設置助成制度、維持管理助成制度の拡充に努めます。
 - ≫ 浄化槽管理等を行う方への定期的な指導を実施します。
 - ≫ 台帳整備により適切な浄化槽状況の把握に努めます。
 - ≫ 下水道、農集排との負担均衡のため定期的に助成制度を見直します。

安心して生活排水施設を利用していくために

- 大規模地震等に備えた対策
 - ① 地震被害想定へ向けた取組み
 - ・被害想定や重要施設の耐震化を随時行っていきます。
 - ② 地震対策へ向けた取組み
 - ・避難所の簡易トイレ整備検討、BCP策定による取組みの確認を行います。
 - ・被害想定の下、ソフト対策を含む総合的な対策を検討します。



南牧村 「バイオマス利活用プラン 2015」

平成 27 年度策定

バイオマスの利活用の方針

南牧村の生活排水施設系から発生する汚泥（バイオマス）は、施設ごとに個別処理を行っており、特定環境保全公共下水道では主に産業廃棄物としてコンポスト利用、農集排、浄化槽、し尿処理では県外のセメント工場へ搬出され利用されているものの、処理に係る経費が経営にとって大きな負担となっています。

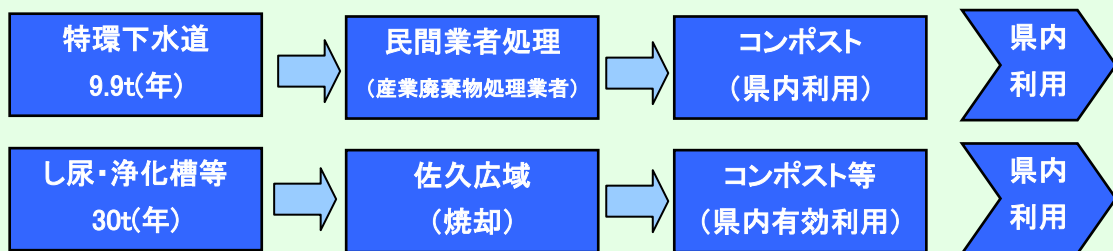
今後は、特環下水道、農集排、浄化槽及び今後減少が見込まれるし尿処理を一体的に考え、バイオマスとしての有効利活用や処理処分費の軽減策の検討など、維持管理コストの削減を検討していく必要があります。

このため、バイオマス利活用へ向けた更なるコスト削減を図るとともに、バイオマスの活用用途の拡大を目指します。

バイオマスの現状と方向性

■汚泥（バイオマス）は県内利活用されています。

>> 資源循環されていますが、公共下水道は産業廃棄物処理となっています。

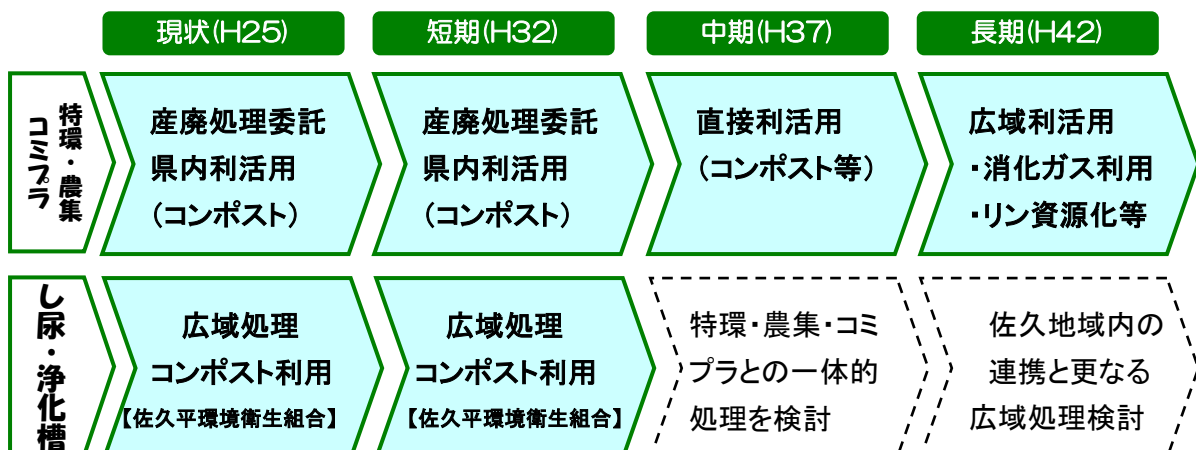


■バイオマス利活用コストの削減に努めます。

>> 特環下水道：産業廃棄物処理から資源利用へ（処理費の削減）

>> し尿・浄化槽：し尿・浄化槽のみの単独処理から公共下水道との連携へ

>> バイオマス資源の有効利活用のため広域連携へ



南牧村「経営プラン2015」

平成27年度策定



経営プランの方針

南牧村では、平成6年に農業集落排水が供用開始して以来、特定環境保全公共下水道の2地区、コミュニティプラントを含め4処理区が供用開始済みとなっています。その経営状況は、使用料収入の他、一般会計からの繰入れにより賄われています。

このため、将来にわたって持続可能な経営を検討していく必要があります。50年先の状況まで見通した上で、構想の策定目標年度の15年後までにできる改善計画を検討した上で、経営計画を策定し「経営プラン2015」を策定しました。



管理経営の状況と方向性

■管理経営の状況

- ・人口減少等に伴い特環・農集・コミプラの料金収入は伸び悩み、将来的には減少する見込みのため、適正な料金設定を将来的に検討していく必要があります
- ・維持管理費の効率化を今後とも進めますが、将来的には施設の改築更新を迎えるに当たり、一般会計からの繰入れによる経営状況が続く予定です。
- ・今後、増加を見込める浄化槽については、将来的には特環下水道や農集排と同様に、全ての村民が同じように生活排水施設を利用していけるような取組みを行っていきます。

これからの管理と経営

■管理経営状況の明確化

- ・経営状況を公表し村民の皆様に状況を御確認していただく取組みを行います。
- ・その上で、持続的な生活排水対策について、一緒になって検討していけるような取組みを行います。

■経営基盤の強化

- ・使用料金について村民の皆様の御理解を得ながら適正な料金についての検討を行ってまいります。

■少子高齢化への対応

- ・今後は一段と少子高齢化が進行していきますが、安心して生活排水施設を利用できるよう、関係者が一丸となって対応してまいります。



現状把握と検証

南牧村「水循環・資源循環のみち 2010」構想の見直しに当たり、事業者が構想における現状把握と検証を行いました。その結果を基に見直しを行いました。

指標	現状把握 (平成25年度末現在)		検証結果	見直し方針
	計画	実績		
A:快適生活率(%)	97	91.4	A指標は、目標こそ達していないものの、わずかながら上昇しています。	A指標は、平成42年の目標100%を達成できるように、生活排水制度への理解を図っていきます。
①:浄化槽適正管理率(%)	96	95	①指標は、目標どおり進んでいます。	①指標は、当初目標どおりに進めます。
B:環境改善指数	42	25	B指標は、努力が必要です。身近な環境について共有できるような取り組みを行う必要があります。	B指標は、当初目標どおりに進めます。
②:浄化槽設置基数(%)	100	100	②指標は、目標どおり進んでいます。	②指標は、当初目標どおりに進めます。
C:情報公開実施指数	16	6.5	C指標は、目標を達成しておりません。	C指標は、当初目標どおりに進めます。
③:環境学習実施率(%)	100	100	③指標は、目標どおり進んでいます。	③指標は、当初目標どおりに進めます。
D:汚水処理人口普及率(%)	94	96.9	D指標は、目標どおり整備が進んでいます。	D指標は、平成37年度に100%になるように、整備手法を見直します。
④:有収水量率(%)	80	80	④指標は、目標どおり進んでいます。	④指標は、当初目標どおりに進めます。
E:バイオマス利活用指数	100	98.7	E指標は、目標どおり進んでおり、汚泥の肥料としての有効利用が進んでいます。	E指標は、当初目標どおりに進めます。
⑤:放流水基準に対する放流水質(%)	78	85	⑤指標は、目標どおり進んでいます。	⑤指標は、当初目標どおりに進めます。
F:経営健全度	13	2	F指標は、努力が必要です。	F指標は、平成42年度までには目標を達成できるように進めます。
⑥:維持管理費に対する使用料回収率(%)	70	71	⑥指標は、目標どおり進んでいます。	⑥指標は、当初目標どおりに進めます。

【お問い合わせ】 〒384-1302 長野県南佐久郡南牧村海ノ口 1051
南牧村役場 TEL 0267-96-2211 FAX 0267-96-2227